

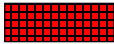


愛知県、千葉県での採卵鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ続発！！


～愛知県7例目、千葉県4例目(国内農場30、31例目)～

1月16日に愛知県常滑市、千葉県旭市の採卵養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

国内各地で続発しています！家さん飼養農場の皆様には、引き続き野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策の徹底をお願いします。

家さん：14道県31事例
約502万羽が処分
野鳥：16道県97事例
139検体が陽性

 農場と野鳥での発生
 農場での発生
 野鳥での発生

- 
- ✓ 人や車両の消毒徹底
 - ✓ 専用作業着、長靴の着用
 - ✓ 野鳥の侵入防止対策
 - ✓ 異状があればすぐ家保へ連絡

【発生地：千葉県旭市】

- ・採卵鶏農場（飼養羽数：約3.8万羽）
- ・1月16日、農場からの通報を受けて県が立入検査、簡易検査陽性。遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認

【発生地：愛知県常滑市】

- ・採卵鶏農場（飼養羽数：約9.1万羽）
- ・1月16日、農場から死亡羽数増加の通報を受けて県が立入検査、簡易検査陽性。遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認